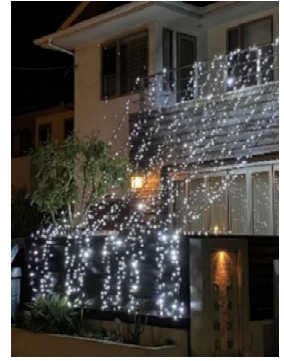


詩・和歌・俳句・川柳 その765 photo by Kumi (HPに掲載)

- ☆小さな祝祭あれかしと祈る (年の瀬 田越川沿い)
- ☆寝ても覚めても吾が生徒 (12/30 町田教室)
- ☆鐘撞かず静かに閉じ静かに明け (大晦日 逗子延命寺)
- ☆鶴岡に神は宿らず画面のみ (鎌倉鶴岡八幡宮)
- ☆男子三人孫ら連れ逗子参り (逗子亀岡八幡宮)
- ☆ルスカスや光コボルル葉の裏に (ルスカスの花)
- ☆冬の日に冬の光語り継ぐ (元日サンセット 有生総子夫妻と逗子海岸)



植魚
植魚
植魚
植魚
植魚
植魚
植魚

詩・和歌・俳句・川柳 その766 photo by Kumi (HPに掲載)

- ☆参道の地蔵と拝む日没かな (1/2 妻と神武寺へ参る)
- ☆一年に二枚のマスク去年今年 (1/2)
- ☆屋上の衣と同じ陽を浴びて (1/2)
- ☆ヴィーナスの石膏像を買い求め (妻&絵)
- ☆“アーティスト”叫び100号に挑む妻 (抱負)
- ☆年末年始のらりくらしと海月かな (クラゲの絵)
- ☆漸くにギターつま弾く仕事始め (1/4 妻の)
- ☆再び塾へ来る子らの工房 (千年工房)



神武寺参道からの落日

植魚
植魚
植魚
植魚
植魚
植魚
植魚
植魚

詩・和歌・俳句・川柳 その767 photo by Kumi (HPにカラー写真掲載)

- ☆まめやへ招福買ひに八幡参る (1/10 鎌倉まめや)
- ☆明日の無ひ店仕舞ひ小町の通り (1/10 鎌倉小町通)
- ☆立ちんぼの車引き目立つ四辻 (1/10 小路大路)
- ☆若人多き老人少なき境内を (1/10 鎌倉鶴岡八幡宮)
- ☆神戻る八幡宮に五円拝む (1/10 家内安全商売繁盛)
- ☆なんと豪華な振袖の色と柄 (1/11 逗子市成人式)
- ☆渋柿や白い粉噴く市田柿 (1/11 千柿)
- ☆寝かした渋柿啜る父母の笑顔 (昔日)

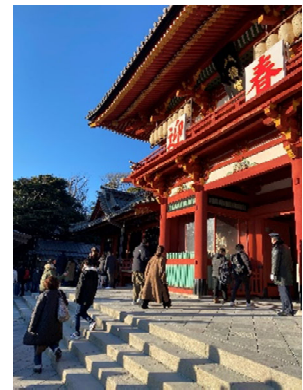


鎌倉鶴岡八幡宮

植魚
植魚
植魚
植魚
植魚
植魚
植魚
植魚

詩・和歌・俳句・川柳 その768 photo by Kumi (HPにカラー写真掲載)

- ☆柿暖簾信州へ旅発つかな (65年ほど前の記憶)
- ☆初めにありき言霊といいし「噂」(噂話から)
- ☆祖国とは言葉なり吾辿りつつ (祖国とは)
- ☆祖国は國語はあるべしいつまでも (國語とは)
- ☆遺伝子に乗せてもヒトは分からず (利己的遺伝子)
- ☆アフリカから怒濤の如く地響き (サビエンス)
- ☆本拡げ想い運ぶ夜の鉄道 (サビエンス全史)
- ☆車内に読書人皆無なり (往還)
- ☆マスクせずたった一人で本を読む (車中)



鎌倉鶴岡八幡宮

植魚
植魚
植魚
植魚
植魚
植魚
植魚
植魚
植魚